2021年3月15日

報道関係各位

株式会社阪急阪神百貨店
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

阪神梅田本店、サステナブルをテーマにした催事を初開催
「ちょうどいいから、ごきげん 自分が好きになる暮らし展」
日時：3月17日(水)～23日(火)、場所：8階催場

阪神梅田本店（大阪市北区）は、サステナブルをテーマにした「ちょうどいいから、ごきげん 自分が好きになる暮らし展」を3月17日（水）～23日（火）に8階催場で開催します。各カテゴリーから集まったバイヤーが、永く愛せる暮らしの道具、地産地消、生産者応援といったテーマで選び抜いたお店や商品をご提案します。他にも、再利用可能な会場装飾の製作、催場で使用した植栽は終了後にグループ内のイズミヤ河内長野店に移植、SNSなどを活用しマイバッグの持参協力をお客様に呼びかけるなど、これからの社会のことを考え、できることからひとつずつサステナブルな取り組みを広げていきます。



「ちょうどいいから、ごきげん 自分が好きになる暮らし展」https://www.hanshin-dept.jp/dept/e/kurashi/

＜この件に関するお問い合わせ先＞
株式会社阪急阪神百貨店　阪神梅田本店　宣伝広報部　ＴＥＬ０６（６３４５）１８２３
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社　広報部　ＴＥＬ０６（６３６７）３１８１

＜ご参考＞

■8つの取り組み

1.売場を横断した8人のバイヤーで企画

若手を中心に、全館様々なカテゴリーから集まったバイヤーで企画。それぞれの専門と人脈を活かしながら、今回のコンセプトにあわせて出店交渉を進めました。



2.サステナブルな売場づくりを目指し、店頭装飾を見直します

催場でのサインや看板は、これまで催事期間だけ使って、廃棄していましたが、今回はショップごとの看板製作を大阪・豊能町の「上手工作所」に依頼して、継続的に再利用できる木製の看板をつくっていただきました。



3.簡易包装でのお渡しご協力をお願いします

SNSなどを使って、できるだけ簡易包装でのお渡しにご協力いただくよう呼びかけます。会場には2020年11月から販売している阪急阪神百貨店のオリジナルエコバッグもご用意します。



阪急阪神百貨店オリジナルエコバッグ税込み550円

4.約100冊の選書を通じて、催し場のコンセプトを表現します

サステナブル、SDGsといった、未来を考えるためのキーワードを、より自分ごととして捉えるために、兵庫・川西のご自宅を予約制のブックショップにされている「コトバノイエ」加藤博久さんが100冊を選書し、売り場に並べます。選び抜かれた1冊1冊が今回の催事で伝えたいこと、考えたいことを象徴的に伝えます。



5.庭づくりのプロの協力を得て、緑のある催事環境を生み出します

大阪・八尾市を拠点に活躍している庭づくり集団「グリーンスペース」とともに、小さな庭を催場につくりだします。これを単なる空間装飾とするのではなく、ここで植えられた木々は催事終了後、グループのイズミヤ河内長野店に移植して命をつなぐ予定です。



6.永く愛せる日用品を扱うショップばかりを集めました

本当によいモノとは何か。そのことを再確認させてくれる姿勢で運営され、それぞれにファンを獲得しているショップやブランドを揃えました。

7.生産者応援をテーマに、熊本や高知から地元密着型のショップを招きます

熊本や高知は近年、地震や豪雨による大きな被害を受けました。熊本県産の野菜を乾燥野菜にして海外にまで発信している「HOSHIKO」。大阪・高槻で高知産の食材を広く展開している「hinata」。地元に根ざしたブランドを今回の催事で紹介するとともに、生産者の応援へと結びつけます。

8.地元食材を活用した“食”を大阪の人気ショップと共同で開発

旬の果物を贅沢に使ったスイーツで人気を呼ぶ大阪・柏原の「モモベジ」が地元食材にこだわったオリジナルメニューを作成。また、魚介だしカレーで知られる大阪・西中島南方の「スパイスカレー旬香唐」と高知食材を扱う「hinata」がコラボメニューを開発。催し開催期間だけ販売します。